

SEIKO WATCH CORPORATION
Copyright©2025 by SEIKO WATCH CORPORATION

SEIKO

8L45

飽和潜水用防水ダイバーズウォッチ 取扱説明書
DIVER'S WATCH FOR SATURATION DIVING INSTRUCTIONS

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

- ※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談室へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。
- ※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

⚠ 警告
ご使用前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。誤った使い方をされ、表示内容の正しい理解を怠ると、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

⚠ 警告

ダイバーズウォッチは主に時間経過を表示する補助計器であり、使用者の安全を保障するものではありません。安全のためダイビング用に必要とされる機器(残圧計、水深計等)を併用することが必要です。

⚠ 警告

本製品は飽和潜水に対応しています。飽和潜水に必要不可欠な経験と技術を有し、本製品の操作と取り扱いを完全にマスターし、毎回の潜水前に本製品を点検してください。そうでなければ、本製品を使用する飽和潜水は行わないでください。

△ 注意 ご使用の前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

△ 注意

潜水の前に次の項目を点検してください。

- 時計が正常に作動しているか
- 電池やぜんまいの残量は十分か
- 回転ベゼルの回り具合は良好か(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか)
- りゅうず等のねじをしっかりとめてあるか
- バンドとガラスに傷、ひび等の異常がないか
- バンドの固定は確実か(ばね棒、とめ金、その他)

※これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用しないでください。

△ 注意

水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

△ 注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、2～3年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

JA 3

目次

1 操作について

製品取扱上のご注意	5
潜水に際しての注意事項(必ずお読みください)	9
潜水前	9
潜水中	11
潜水後	12
ケース構造について	13
防水性能について	14
メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻) ..	15
各部の名称と主なはたらき	16
ねじロック式りゅうずについて	17
ぜんまいの巻きかた	18
時刻・日付の合わせかた	20
月末の日付修正について	23
回転ベゼルの使いかた	24

2 ご注意いただきたいこと

お手入れについて	26
性能と型式について	27
ルミブライトについて	28
耐磁性能について(磁気の影響)	29
バンドについて	31
ダイバーアジャスターの使いかた	34
ダイバーエクステンダーの使いかた	36
引通しタイプバンドの使いかた	38
アフターサービスについて	41
メカニカルウォッチの精度について	43
こんなときには	45
製品仕様	47

JA 4

1

製品取扱上のご注意

△ 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください。

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

JA 5

△ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください。

- 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ
- 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 時計本体の廃棄については、自治体の指示に従ってください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

JA 6

1

操作について

⚠ 警告

文字板や裏ぶたの深度表示をしっかりと確認し、それ以上深い場所でのご使用は避けください。

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。

⚠ 警告

ダイビングでの使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、ルールを守ってご使用ください。

潜水に際しての注意事項(必ずお読みください)

■ 潜水前

潜水の前に、次の項目を点検してください。

※「各部の名称と主なはたらき」→ P. 16

1 時刻が正確にセットされているか。

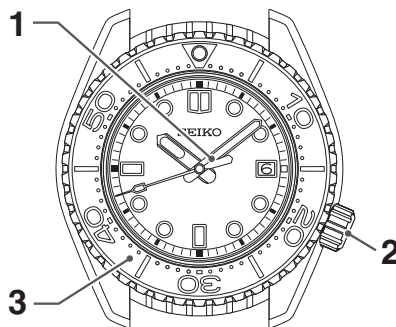
2 潜水中に止まらないよう、リューズを回して、十分にぜんまいを巻き上げてください。

※「ねじロック式リューズについて」
→ P. 17

※「ぜんまいの巻きかた」→ P. 18

3 回転ベゼルの回り具合は良好か。
(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)

※「回転ベゼルの使いかた」→ P. 24



⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。



水分のついたまま、リューズやボタンを操作しないでください。

時計内部に水分が入ることがあります。

※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください。

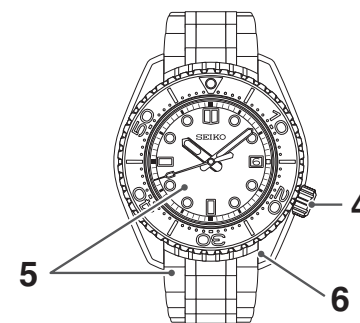
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

4 リューズのねじをしっかりとめてあるか。

※「ねじロック式リューズについて」
→ P. 17

5 バンドとガラスにひび、カケ等の異常がないか。

6 バンドの固定は確実か。
(ばね棒、とめ金、その他)

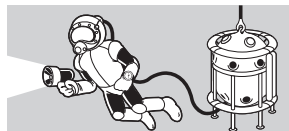


⚠ 注意

万が一、異常が認められた場合はお買い上げ店、またはお客様相談室にご相談ください。

■ 潜水中

次の項目をご確認の上、ご使用ください。



空気潜水、飽和潜水において、文字板などに表示された深度までの範囲でご使用ください。



岩などにぶつけないように注意してください。



水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。



回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなるがありますが、異常ではありません。

■ ケース構造について

下のようなモデルの場合は、下記の内容に注意してご使用ください。

ベゼルまたは外胴を固定するための留めねじがあります。

留めねじは絶対にゆるめないでください。



留めねじ



留めねじ



留めねじ

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

△ 注意

ベゼルまたは外胴を固定している留めねじは、絶対にゆるめないでください。故障や紛失の原因になります。

※留めねじに異状を発見した場合は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご相談ください。

■ 潜水後

潜水後のお手入れは、次のように行ってください。



必ず真水でよく洗ってから、ふき取ってください。

直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。



△ 注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、2～3年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

防水性能について

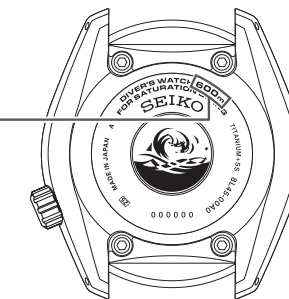
● 飽和潜水用防水性能

この時計は、ヘリウムガスを使用する飽和潜水向け仕様として、作られた商品になります。

文字板、あるいは裏ぶたに表記されている深度表示をしっかりと確認し、それ以上深い場所でのご使用はお避けください。



深度表示

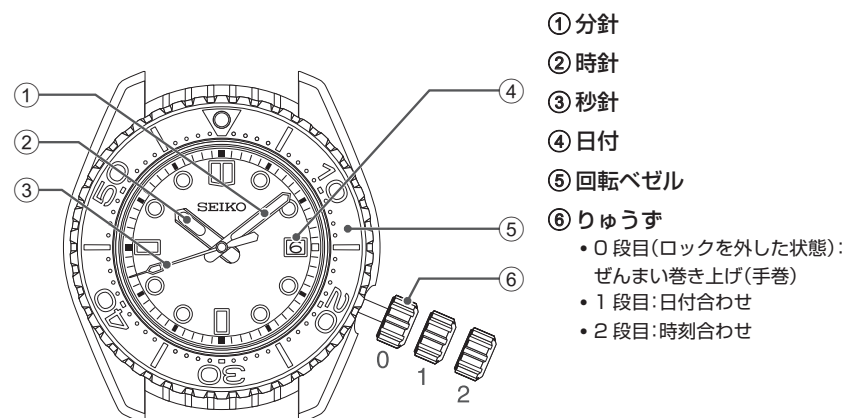


※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻)

- この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- 止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを 20 回手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- 精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差(一日あたりの進み・遅れ)となります。
- さらに、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等)によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- 外部から強い磁気の影響を受けると、精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

各部の名称と主なはたらき



ねじロック式りゅうずについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはりゅうずをねじでロックできる構造です。

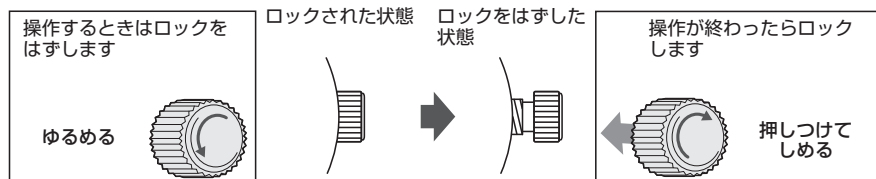
- りゅうずを操作するときはロックをはずしてください
- 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】

りゅうずを左回り(反時計回り)に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

【ロックのしかた】

りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右回り(時計回り)に止まるところまで回してください。



※ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。無理に押し込むと、ねじ部(ケース)を壊す恐れがありますのでご注意ください。

ぜんまいの巻きかた

- この時計は、自動巻式機械時計(手巻つき)です。
 - ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、りゅうずをまわしてぜんまいを巻くこともできます。
 - 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付と時刻を合わせてから腕におつけください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず 0 段目位置で右回転方向にゆっくりとまわしてください。なお、りゅうずは左方向では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻上げ状態でぜんまいがスリップするようになっており、ぜんまいを切る心配はありません。
- ※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外し、操作後必ずロックをしてください。
- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約 72 時間です。

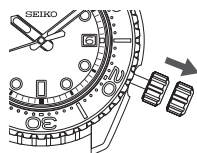
※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1 日 10 時間以上携帯することをおすすめします。また、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずをまわしぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク(力)が弱いからです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振りてんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

1 りゅうずのロックをはずす

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 17

2 りゅうずを 1 段目まで引き出す



りゅうずを 1 段引く

3 りゅうずを回転させ、日付の修正をする

前の日の日付に合わせます。
(例)合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。
りゅうずを右回り(時計回り)に回すことで日付合わせが行えます。

時刻・日付の合わせかた

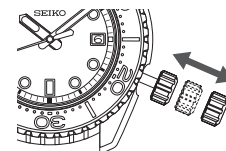
この時計には、日付表示機能がついています。24 時間に 1 回日付を一日分送るようになっています。日付は、「午前 0 時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、「お昼の 12 時」ごろに日付が変わってしまいます。

△ 注意

時刻表示が午後 8 時から午前 2 時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切りかわらないことや、故障の原因となる場合があります。

4 りゅうずを 2 段目まで引き出し、時刻を合わせる

秒針が「12 時」の位置にきたときに引き出してください。
(秒針が止まります。)
りゅうずを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



5 時報と同時にりゅうずを 0 段目まで押し込む

秒針が動き始めます。
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。

6 りゅうずをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 17

△ 注意

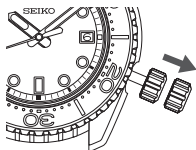
当ムーブメントは輪列機構上から時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

■ 月末の日付修正について

2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。リゅうずを1段目に引き出してください。
リゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、リゅうずを押し込んでください。



リゅうずを1段引く

△注意

- ねじロック式リゅうずを必ず元通りに締めてください。
- 時刻表示が午後8時から午前2時までの間、日付修正は避けてください。故障の原因になります。

【逆回転防止ベゼルについて】

ダイバーズウォッチでは、潜水時間がエア残量に影響するため、ベゼル上での経過時間が実際の潜水時間よりも短くならないように、反時計方向にしか回転しない構造になっています。

△注意

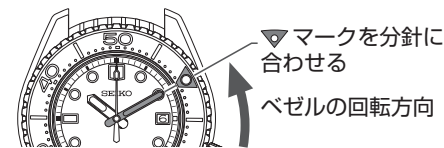
潜水時にはエア残量の確認をしっかりと行い、回転ベゼルによる経過時間は一つのめやすとお考えください。

回転ベゼルの使いかた

回転ベゼルを使って、経過時間を測定することができます。

1 時間の測定を開始するタイミング (例) 10時10分に潜水を開始した場合 で(例えば潜水開始時に)、▼マークを分針に合わせる

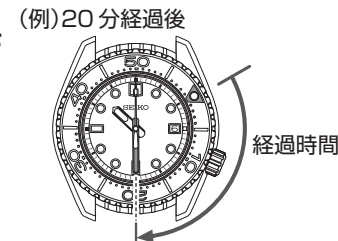
※回転ベゼルは、反時計方向にしか回転しません。
無理に時計方向へ回さないでください。
「【逆回転防止ベゼルについて】」
→ P. 25



▼マークを分針に合わせる
ベゼルの回転方向

2 分針が指す回転ベゼル上の目盛を読む

分針が指す回転ベゼル上の目盛が経過時間です。



経過時間

※モデル(デザイン)はお買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- リゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
「防水性能について」→ P. 14
「性能と型式について」→ P. 27

● リゅうずは時々回してください

- リゅうずのさびつきを防止するために、時々リゅうずを回してください。
- ねじロック式リゅうずの場合も同様です。
「ねじロック式リゅうずについて」→ P. 17

性能と型式について

2

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



- 防水性能
- 型式番号

お客様の時計の種類を示す番号です。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

- 耐磁性能

P. 29 ~ P. 30 を参照ください。

JA 27

ルミブライトについて

2

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

＜照度のめやすについて＞

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明(白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

JA 28

耐磁性能について(磁気の影響)

2

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

ダイバーズウォッチは、JIS1 種相当以上の耐磁性能があります。

⚠ 危険	
裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

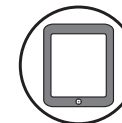
磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁気の影響を受けます。

JA 29

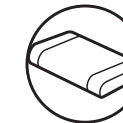
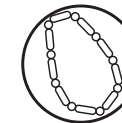
時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末
(スピーカー部、カバーのマグネット部)

AC アダプター

バッグ
(磁石の止め金)



交流電気
シェーバー

電磁調理器

携帯ラジオ
(スピーカー部)

磁気ネックレス

磁気健康枕

2

ご注意ください

JA 30

バンドについて

2

ご注意ください

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

● 金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

JA 31

● 布製バンド(ナイロン・ポリエステル)

- 糸を編み込んでいる構造上、皮脂や汚れなどが付着しやすい性質があります。
- 本製品への引っかかりによる製品のほつれ、破損などにご注意ください。
- 汗や雨で製品が湿った際、摩擦により色落ちし、他の衣料に色が移ることがありますのでご注意ください。
- 衣類の素材との摩擦により、静電気が起こることがありますのでご注意ください。
- 皮脂や汚れなどが付着した場合には、すぐに乾いた布などで軽く拭き取ってください。
- 乾燥させる際は、風通しの良い場所で陰干ししてください。
- 長時間の水洗いにより、風合いが変わることがあります。
- ダイビングなど海で使用された際には十分に塩抜きを行ってください。
- 直射日光に当たる場所に放置すると、変色する可能性がありますのでご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。 時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



JA 33

● ポリウレタンバンド

- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

● シリコンバンド

- 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。
汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

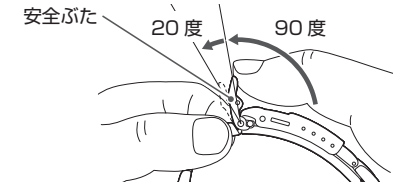
2

ご注意ください

ダイバーアジャスターの使いかた

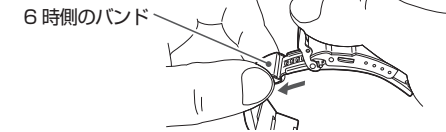
金属バンドで、ダイバーアジャスター機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。
ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

- 安全ぶたを 90 度起こし、さらに 20 度倒し、そのまま軽く押さえる**
 - 多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れすぎないようにご注意ください。



- 6 時側のバンドをバンドのカーブに沿う方向に(曲線を描くように)引く**

- この操作も軽い力でできますので、力を入れ過ぎないようにしてください。
- スライダーは約 30mm 伸びます。無理に引き出さないようにご注意ください。

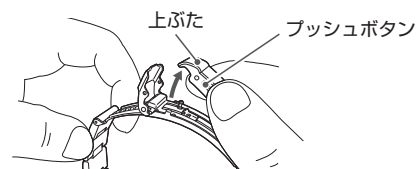


2

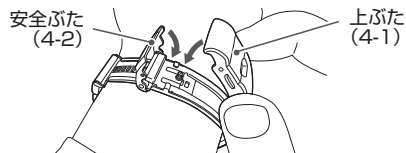
ご注意ください

JA 34

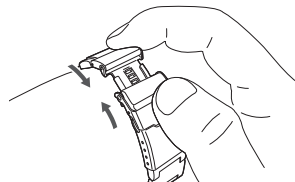
- 3** プッシュボタンを押しながら上ぶたを持ち上げて、中留を開き、手首につける



- 4** 上ぶた(4-1)、安全ぶた(4-2)の順にふたを閉じる

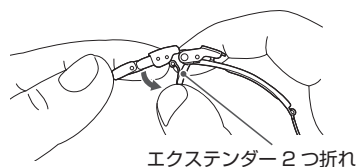


- 5** 時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで縮める

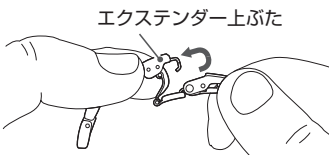


- 3** エクステンダー 2 つ折れを矢印の方向に開く

- このとき抵抗があり、カチッと音がします。

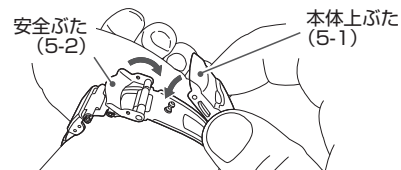


- 4** エクステンダー上ぶたを矢印の方向にスライドさせながら上へ引いて開く



- 5** 腕に着け、本体上ぶた(5-1)、安全ぶた(5-2)の順にふたを閉じる

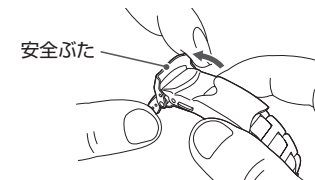
- ※短くするときは逆の手順でたたんでください。エクステンダーの 2 つ折れ部分をたたむとき、カチッと音がします。



ダイバーエクステンダーの使いかた

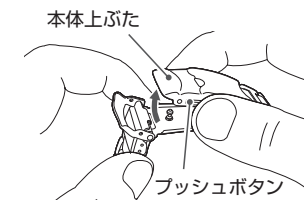
金属バンドで、ダイバーエクステンダー機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

1 安全ぶたを開く



2 ボタンを押しながら本体上ぶたを開く

- 安全ぶたは危険防止のため、元の位置に戻します。



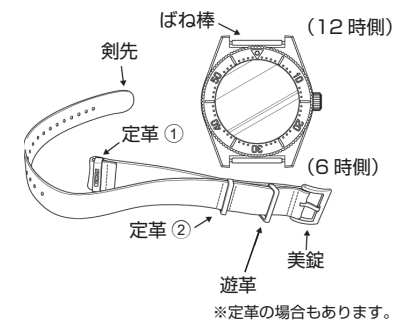
引通しタイプバンドの使いかた

このバンドはお客様がご自身で簡単にバンドを交換できる機構を持っています。説明書をよくお読みになって交換をしてください。

● 新しいバンドを取り付ける

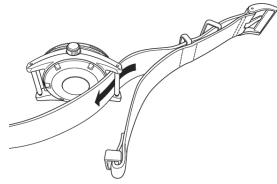
まずは、ケースから古いバンドを取り外してください。

- ケースに、ばね棒がしっかり取り付けられていることを確認してください。
- バンドに美錠、定革がしっかり固定され取り付けられていることを確認してください。

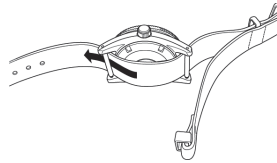


※定革の場合もあります。

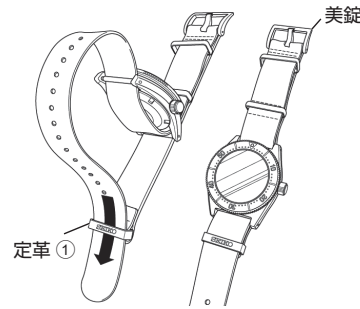
1. 図のように、美錠が 12 時側になる様にセットし、12 時側のケースとばね棒の間に上面からバンドの剣先を通します。



2. 時計本体の裏ぶたに沿って、6 時側のケースとばね棒の間に裏面からバンドを通します。



3. 6 時側の定革①にバンドの剣先を通します。ケースにバンドが取り付けられ、腕に装着できる状態になります。



アフターサービスについて

● 保証と修理について

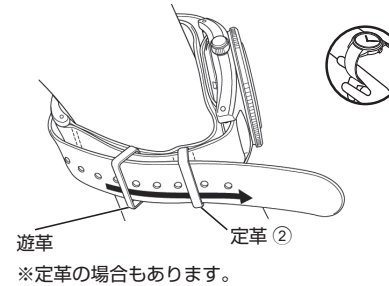
- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● バンドの装着方法

- 時計本体を腕に乗せ、バンドの剣先を美錠に通し適切な長さになるようにとめてください。
- 剣先をそのまま遊革、定革②の 2 か所に通します。時計を腕につけた状態で指が 1 本入る程度が目安です。
- バンドが長い場合は、剣先を図のように折り返し、固定してください。



● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、2 年～3 年に 1 度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にご購入後 2 年～3 年目の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時刻の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

△ 注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、2～3 年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

メカニカルウォッチの精度について

2

ご注意ください

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢(向き)によって、進み／遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件(携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など)により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。
- 精度の温度差

メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

JA 43

こんなときには

2

ご注意ください

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった	ぜんまいが巻かれていない。	「ぜんまいの巻きかた」→(P.18)に従ってぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が進む／遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温に戻れば元に戻ります。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、元にもどりません。元の精度に戻すためには、脱磁(修理)をする必要があります。お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直しても精度が元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	お買い上げ店にご相談ください。

JA 45

○ ぜんまいの巻き具合と精度

精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするてんぷに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱい巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっていきます。自動巻きは頻繁に携帯していただく事で、また手巻きはぜんまいを毎日一回一定の時刻に十分に巻き上げて規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。

○ 磁気の影響

外部から強い磁気の影響を受けると、精度がズれることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

2

ご注意ください

現象	考えられる原因	このようにしてください
日付が日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間分、針を進めてください。
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

2

ご注意ください

JA 46

製品仕様

機種	8L45
1.基本機能	3 針(時・分・秒)、日付表示
2.振動数	28,800 振動／時間(8 振動／秒)
3.精度	日差 + 10 秒～-5 秒 ただし、気温 5℃～35℃において腕につけた場合
4.駆動方式	ぜんまい巻く自動巻(手巻つき)
5.持続時間	最大巻上時 約 72 時間
6.使用石数	35 石

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。

※メカニカルウオッチの特性上、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、ぜんまいの巻き上げ量など)によっては上記精度の範囲を超える場合があります。